

Zoo Zoom おびひろ



インドゾウの『ナナ』（メス・55歳）

ナナは、現在北海道に1頭しかいない貴重な生きてゾウです。来園してから50年以上たち、今ではおびひろ動物園のシンボルのような存在になりました。そんなナナは今年で55歳ですが、まだまだ元気です。

撮影宮澤 龍彦

☆クイズ☆ わたしは **だれ** でしょう？

くちばし



かざりばね



あし



ヒント♪ 色鮮やかな水鳥だよ
答えは正解の動物の近くに掲示しています。

獣医つれづれ日記 vol.15 ~よみがえったびっくー~

冬のある日、ピグミーヤギのびっくーが突然寝たきり状態になって入院してきました。びっくーといえ、りっぱな角が自慢の元気な爺さんヤギですが、それが今や弱々しくオムツをつけて要介護状態に。治療への反応も思わしくなく腹水まで貯まり出し、「いつ逝ってもおかしくない」と重々しく宣告したのです。

唯一の救いは食欲があったこと。担当者には「もう長くないと思うから、好きな食べ物をほしがるだけあげて」と伝えたとこ、びっくーは立えないながらも首を伸ばし、目を輝かせてぶどうなどの大好物を楽しんでいました。「明日は何がもらえるんだろう！」という希望が、日々の命を何とかつないでいるようでした。



気が付くと宣告をしてから1か月が経過…。なんと、少し立てるようになり、やがてずっと立っているようになり、2ヶ月が経過した頃には、好物を要求してヒーヒーやかましく鳴き続け、扉に頭突きまでする始末！しかし検査をすると、結果は極度の貧血。これはおかしい！—と思ったら、ヤギの赤血球は特殊な大きさなので、通常の機械では全くカウントできないということが判明（汗）。よくよく調べてみると、今はそこまで悪い状態ではありませんでした。よくわからないけれど死の淵からよみがえり、めでたく退院したびっくー。・・・食欲は、何にも勝るクスリかな。

獣医師 M.S

おびひろ動物園情報誌『Zoo Zoom おびひろ』平成28年度春号
発行日：平成28年4月29日
編集・発行：おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地
TEL：0155-24-2437 E-mail：zoo@city.obihiro.hokkaido.jp
ホームページ：http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/zoo/
ブログ：http://www.mytokachi.jp/bp/obihirozoo/

ブログ携帯版
はコチラから



飼育係に密着!

動物園の飼育係って
ふだんどんな仕事をしているの?
新人飼育員のとある一日を追いかけてみました。
※一例です。



密着するのは
このひと!
曾根 誠 係員(2年目)
担当:カバ・バイソン
どんぐりのいえ

8:20 出勤

おはようございます!今日も一日がんばりましょう。

8:45 朝礼・打ち合わせ

日誌を見てその日の担当動物の確認や仕事の準備をします。
全員で朝礼を行い、宿直の職員からの引継ぎを受けたら
仕事の流れを打ち合わせて一日がスタート。

9:00 エサの準備

まずは全員で動物たちのエサの準備から。
野菜を切ってお肉を切って魚を量って…。
動物によってメニューや量、切り方まで
違うので覚えるのが大変です。



エリスとモモンガの
エサも微妙に大きさを
変えて切ってます。



9:30 飼育・そうじ

動物たちの健康状態をチェック!エサはしっかり食べている?
ケガはない?異常がないか観察しながら外の展示場に出していきます。
その間に寝室のそうじをしたりエサを用意するためこの時間は大忙し。
一日にだいたい四~五種類の動物を担当します。



すみずみまで
きれいに!



12:00 お昼休憩

しっかりお昼ごはんを食べて、午後の仕事までひと休みです。



13:00 会議

この日は園内イベントに向けた会議を行いました。担当の職員が
集まってイベントの内容や段取りを話し合います。
どうしたらお客様に動物のことを楽しく
分かりやすく伝えられるか、意見が飛び交い
真剣な議論が交わされます。



14:30 飼育・そうじ

動物たちを寝室に收容していきます。
ここでも動物たちの様子をしっかりと観察!
それから午後のエサを与えたり外の展示場のそうじをします。

16:30 事務作業

一日の動物の様子を日誌に書いたり、イベントの準備などのデスク
ワークをします。動物の様子や食べたエサの量、糞の状態は健康管理に
とても大切な情報です。気になったことは
調べたり、他の飼育員や獣医師と相談します。



17:20 引継ぎ

宿直の職員に引継ぎを行います。よろしくおねがいします!

18:00 退勤

今日も一日お疲れさまでした!



ひとことインタビュー

Q・飼育員の仕事で楽しいことはどんなことですか?

A・これまで全く知らなかった動物の生態や表情を見られることです。
カバやバイソンといった動物たちの行動やしぐさは飼育員でないと分からないものです。

Q・飼育員の仕事で大変なことはどんなことですか?

A・動物が第一の仕事なので、作業も動物次第。特にカバの「ダイ」は気まぐれで
室内のそうじがしたくてもダイが外に出たくない気分ときは30分待ったこともあります。
また、リスやモモンガと一緒に部屋に入る時は逃げ出さないように常に気を配らないといけ
ないので大変です。

Q・これからの目標はなんですか?

A・まだまだ知らなかったことや驚かされることが出てくるので、もっと動物を観察して詳しく
なり、みなさんに動物園の魅力や面白さを発信できるようになりたいと思っています。